DERWENT-ACC-NO: 1994-252327

DERWENT-WEEK: 199431

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Producing patterned decorative plywood - by supplying coloured paint to

pattern engraved on resin film on plywood baseboard

PATENT-ASSIGNEE: SOGO KK [SOGON]

PRIORITY-DATA:

1992JP-0361796 (December 19, 1992)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO LANGUAGE PAGES MAIN-IPC PUB-DATE

JP 06182958 A July 5, 1994 N/A 004 B32B 033/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DESCRIPTOR APPL-NO APPL-DATE

JP06182958A N/A 1992JP-0361796 December 19, 1992

INT-CL (IPC): B27D005/00; B27M003/00; B32B033/00; B44C001/22;

B44C001/26

ABSTRACTED-PUB-NO: JP06182958A

BASIC-ABSTRACT:

Producing decorative plywood comprises adhering a melamine or acryl resin film on the surface of a baseboard, engraving a pattern into the outer surface of the film and charging a colour paint in the pattern.

USE - For making furniture.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/8

DERWENT-CLASS: A35 A94 P63 P73 P78

CPI-CODES: A04-F01A1; A05-B02; A11-C04C; A12-A04A; A12-D01;

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-182958

(43)公開日 平成6年(1994)7月5日

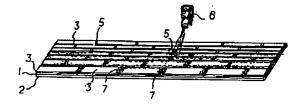
| (51)Int.Cl. ⁵ B 3 2 B B 2 7 D | 33/00 5/00 | 識別記号 | 庁内整理番号 7639-4F 2101-2B | FΙ | 技術表示箇所 |
|--|---------------|--------------------|------------------------------|---------|----------------------|
| B 2 7 M | 3/00 | N | 2101 -2B | | |
| B 4 4 C | 1/22 | | 9134-3K | | |
| | 1/26 | | 9134-3K | | |
| | | | | | 審査請求 有 請求項の数2(全 4 頁) |
| (21)出願番号 | ţ | 特願平4-361796 | | (71)出願人 | 593026270 |
| | | | | | 株式会社ソゴウ |
| (22)出願日 | | 平成 4 年(1992)12月19日 | | | 広島県福山市草戸町1丁目24-3 |
| | | | | (72)発明者 | 十河 子誠 |
| | | | | | 広島県福山市川口町 5 丁目16の18 |
| | | | | (74)代理人 | 弁理士 停龍 弘稔 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(54)【発明の名称】 模様入り化粧合板の製造方法

(57)【要約】

【目的】 内装材として天然石材や練瓦或いは大理石等 を使用したと見倣される立体感溢れる壁面材を安価に市 販に供することを目的とする。

【構成】 合板、ゴムやケイカル板等の台板表面にメラミンやアクリル系樹脂等の合成樹脂フィルムを貼着すると共に、外表面にルーター等を使用して幾何学的等の適宜模様を一定深さの溝状に彫り込み、該凹溝内へ着色された塗料を填入することを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 合板、ゴムやケイカル板等の台板表面に メラミンやアクリル系樹脂等の合成樹脂フィルムを貼着 すると共に、外表面にルーター等を使用して幾何学的等 の適宜模様を一定深さの溝状に彫り込み、該凹溝内へ着 色された塗料を填入することを特徴とした模様入り化粧 合板の製造方法。

【請求項2】 合成樹脂フィルムの肉厚が凡そ1.2m なものが得られる。尚、貼着するフィルムは合成樹脂以 かに着色された紙を使用し、表面にポリエステル樹脂を 深さを凡そ0.5mm~0.7mm程度となしたことを 10 コーティングさせるようになしても良い。上記実施例で 特徴とする請求項1記載の模様入り化粧合板の製造方 は着色を茶色となして練瓦積みを表したものであるが、 エその他大理石模様等の多種養色されたものとなすこと

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は模様入り化粧合板の製造 方法に関する。

[0002]

【従来の技術】合板表面に適宜模様のプリント印刷された合成樹脂フィルムを貼着した化粧合板は、従来より一般的に市販されているものである。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】上記化粧合板の模様は 平面的なために、立体感に乏しい問題がある。本発明は 斯有る問題点を解決せんとするものである。

[0004]

【課題を解決するための手段】本願発明は合板、ゴムやケイカル板等の台板表面にメラミンやアクリル系樹脂等の合成樹脂フィルムを貼着すると共に、外表面にルーター等を使用して幾何学的等の適宜模様を一定深さの溝状に彫り込み、該凹溝内へ着色された塗料を填入すること 30を特徴とした模様入り化粧合板の製造方法である。

[0005]

【作用】外表面にルーター等を使用して模様を一定深さの凹溝に形成し、該溝内に着色塗料を填入して周辺と区画するようになすことから、該模様が立体的に浮上するものとなり、例えば天然石材や練瓦、或るいは大理石ブロック等を積み重ねた如き立体感溢れたものとなる。

[0006]

【実施例】図面は本発明に係わる化粧合板の製作説明図であって、図1は肉厚Tが凡そ4mm程度の合板、ゴム 40やケイカル板等の表面に、肉厚tが凡そ1.2mm程度のメラミンやアクリル樹脂等の合成樹脂フィルム1を貼着した長尺台板(91cm×181cm)2である。

【0007】図2は上記台板の合成樹脂フィルム1表面に粘着用離形紙1を貼着し、上面からルータ4等を使用して幾何学的模様を刻設している状態を示すものであって、この際彫り込む凹溝5はフィルム肉厚の凡そ半分、 しょ 即ち凡そ0.5 mm~0.7 mm程度となされる。

【0008】図3は上記凹溝5の刻設された表面から塗 【図3】上記彫刻装が26を使用して凹溝5内へ着色塗料7を塗装してい 50 示すものである。

る状態を示すものであり、図4は終了後離形紙3を剥ぎ 取る状態を示すものである。図5は斯くして製造された 製品図である。

【0009】本発明で台板上面に貼着される合成樹脂フィルム1がメラミン樹脂である時は、他の樹脂に比べて特に光沢があり、且つ耐摩耗性及び耐光性に優れる特性がある。これに対しアクリル系樹脂では、色調の鮮やかなものが得られる。尚、貼着するフィルムは合成樹脂以外に着色された紙を使用し、表面にボリエステル樹脂をコーティングさせるようになしても良い。上記実施例では着色を茶色となして練瓦積みを表したものであるが、黒その他大理石模様等の各種着色されたものとなすことが出来る。図6及び図7はこれらの製品図である。

【0010】この際、凹溝5内へ填入される着色塗料は 各模様を1つのブロック単位としてパテ等で接ぎ合わせ た立体感を醸し出させるものとなるのであり、上記凹溝 内への塗装は塗装ガンによらず筆や鏝等を使用して填入 させるようにしても良い。又、その上面が少し盛り上が るようにすることも差し支えない。

【0011】本発明で凹溝5の溝深さtを合成樹脂フィルム1の肉厚の凡そ1/2程度とすることは、防水作用を損なわしめないようにするためであるが、台所とか風呂場等の如く水分が多い場所の壁材として使用する以外は、該溝深さが台板2に到達されるものになっても差し支えない。

【0012】図8は上記本発明品を壁材として使用する例について説明するものであって、各台板の接ぎ合わせする部分をAに示す如く予め互いに凹溝5の部分で出入り状態に切断しておき、次にBに示す如く両者を溝部分の間隔を設けて係合させ、あと両者間にコーキング剤を施したり或いは筆で塗料を着色したりするのである。

【0013】本発明では台板2にゴム材を使用したものでは曲面箇所や柱状物に対しても簡便に使用することが出来、内装材として広範囲な使用を可能となすものである。尚、上記で刻設する凹溝は幾何学的なものの外に、ギリシャ彫刻等の古代人物画や動物画等であっても差し支えない。

[0014]

【発明の効果】本発明は以上の如く構成せしめるものであって、主として内装壁面材として天然石材や練瓦或いは大理石などを使用したものと見紛う立体感溢れるものを安価、且つ簡便に市販に供することの出来る上で著効を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明で使用される長尺台板を示すものである。

【図2】上記長尺台板を、ルーターで幾何学的模様を彫 へ刻している状態を示すものである。

【図3】上記彫刻溝面に着色塗料を塗装している状態を 示すものである。

09/27/2002, EAST Version: 1.03.0002

1

3

5

【符号の説明】

【図4】上記塗装終了後、離形紙を剥ぎ取っている状態 を示すものである。

【図5】本発明になる製品図例である。

【図6】他の例の製品図例である。

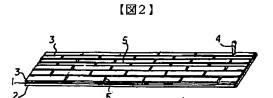
【図7】他の例の製図例である。

【図8】本発明を壁面材として使用する説明図である。

【図1】



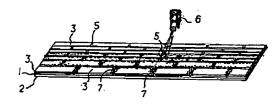




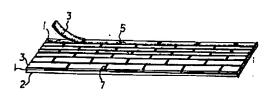
合成樹脂フィルター Fesin かく 台板 - Bese

離形紙 — mold release 凹溝 — groove lan'ty 塗料 — paint

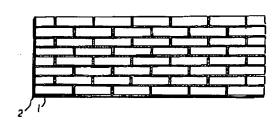
【図3】



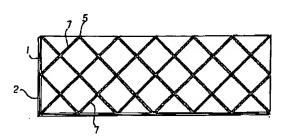
【図4】



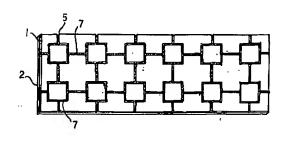
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

